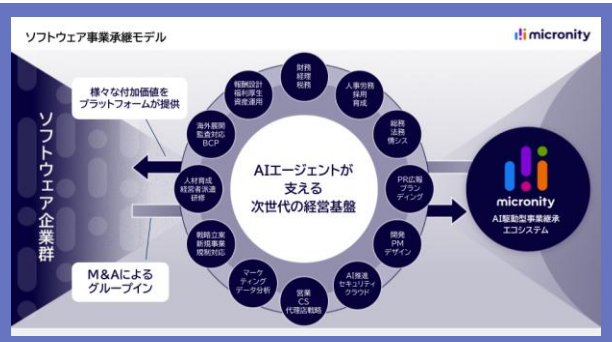
100億宣言

株式会社マイクロニティ（情報通信業）

micronity



事業モデル：AI駆動型事業承継事業

〇本社所在地：東京都渋谷区
〇事業概要：AI駆動型ソフトウェア事業承継プラットフォームの運営及びソフトウェアの企画・開発・運営・販売
〇常時使用する従業員：189名
（グループ全体・2026年9月現在）
〇現在の売上高：27億円
（グループ全体・2025年12月期）
〇法人番号：2011001169094
〇Web：https://micronity.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
山﨑 祐一郎

「知」の循環で未来を解き放つ

私たちがいう「知」とは、単なる情報や知識ではなく、さまざまな業界で長い年月をかけて積み上げた技術とデータ、知恵、信頼、そしてそれを築いてきた人と企業そのものです。マイクロニティは、受け継いだ企業のブランドやカルチャーを尊重しながら、それぞれの「知」にAIを掛け合わせ、単独では成し得ない再成長を実現します。そして、常に新しい技術を探求することで、未来の「知」を生み出し、社会へ巡らせていきます。この「知」の循環は、個々に眠っていた可能性を呼び覚ます。日々の業務に追われてきた人、次の一手を探してきた経営者、まだ出会えていない技術を待ち望む市場。それぞれの制約がほどけ、それぞれの“アナザーストーリー”がはじまるのです。巡るほどに「知」は重なり、高まり、強力なエコシステムへと進化する。共に繋がり、創り、紡ぐことによって、マイクロニティグループという100年続く企業群として、社会の持続的な発展に貢献します。日本から始まるこの循環を、世界へ、未来へと拡げていきます。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2028年の売上高100億円達成に向け、グループ各社のオーガニック成長・AIトランスフォーメーションによる収益力強化・連続M&Aの３つの成長戦略を軸に、年率40%程度の成長を目指す（2025年約27億円→2028年約130億円）。中長期的には、2036年まで年率40%の成長を続け、グループ企業300社体制による唯一無二のソフトウェア企業群の構築を目指します。

課題

・人材の確保と育成：主にAI人材及びM＆A人材
・既存ソフトウェアのAI対応
・M&Aを続けるための資金の確保
・グループ全体の経営体制の整備

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

・事業承継を検討している全国の業界特化型ソフトウェア企業をグループ化（100%取得）し、永久保有。グループ会社数を2026年15社（実績）から2028年42社へ拡大
・承継後はAI駆動のPMIと成長戦略で、各社の再成長（オーガニック：年率+10%）と収益性向上（AIトランスフォーメーション：年率+10%）を支援
・中長期では医療・自治体・建設等の業界別中間持株会社を核に拡大し、海外展開も視野に入れる

実施体制

・ベンチャーキャピタルをはじめとする投資家からの出資と、メガバンク及び地方銀行などからの借入を組み合わせて資金を調達
・M&A体制強化に向けて、専門人材採用と外部知見の活用
・グループの各種KPI・データ集約基盤の導入とガバナンス強化に向けて、管理部門とグループ会社の連携を強化
・AI推進グループが主導し、AI駆動開発・AIエージェント導入によるオペレーションの自動化を全グループ会社にて推進

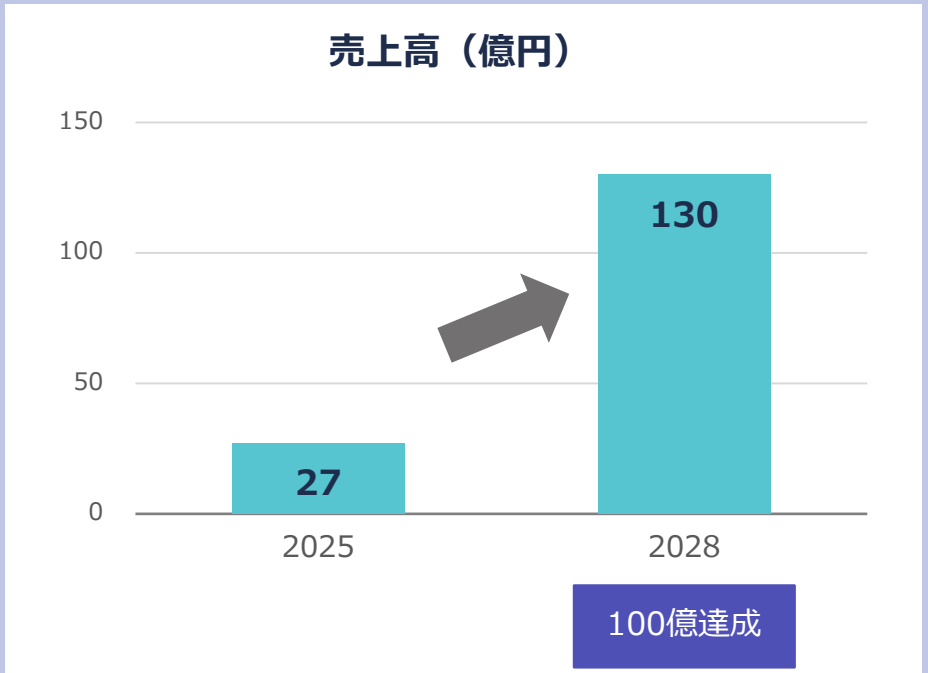
※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

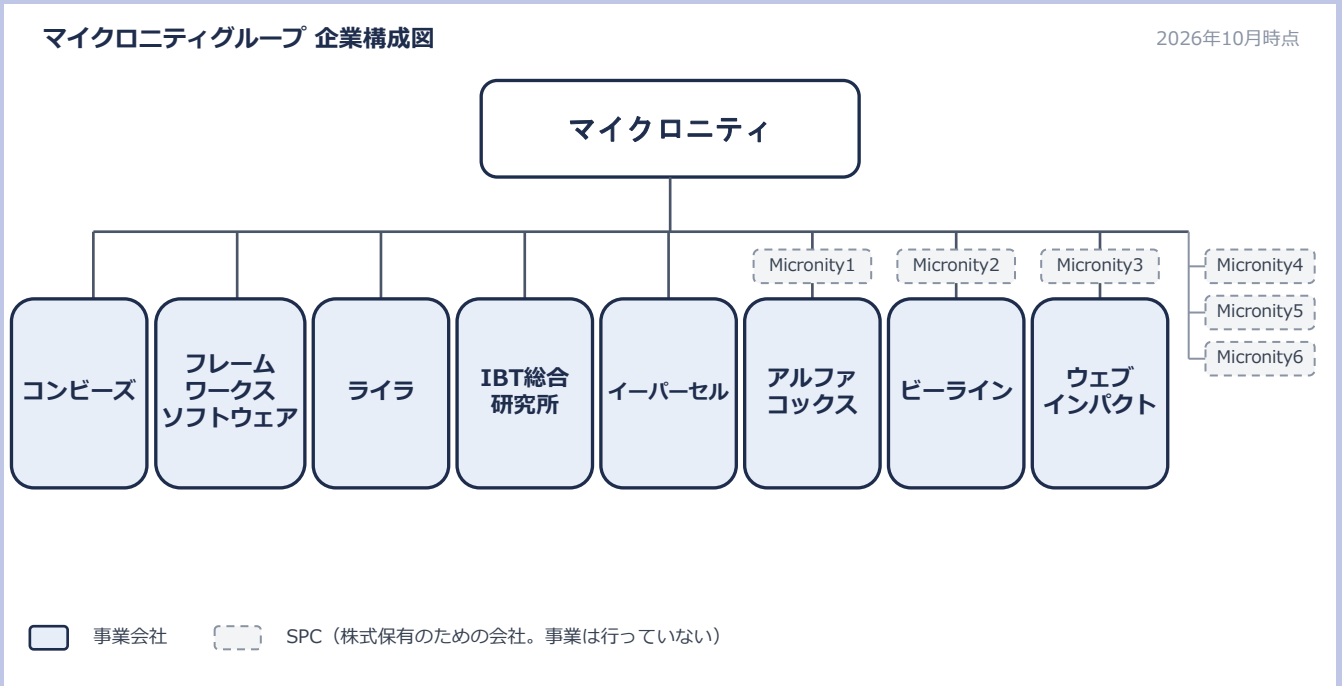
株式会社マイクロニティ（情報通信業）

売上高100億円実現の目標と具体的な措置

当社は、業界特化型ソフトウェア企業の事業承継を通じて、段階的かつ持続的な成長を目指します。独自の投資規律（100%取得・永久保有・自律経営）に基づくM&Aでグループを拡大するとともに、AI駆動のPMIにより承継企業の再成長と収益性向上を実現し、2028年に売上高100億円の達成を目指します。

グループ体制は、株式会社マイクロニティを持株会社とし、建設・マーケティング・CMS・自治体向けクラウド・医療・オンライン試験・セキュアファイル転送の各領域で長く信頼されてきたソフトウェア企業8社とSPC6社（2026年9月末時点）で構成しています。マイクロニティはAI推進・セキュリティ、バックオフィス、採用・育成、営業・マーケティング、経営戦略・M&A、PR・ブランディングをグループ共通機能として提供し、各社の自律経営を支えます。中長期では、業界別の中間持株会社を「核」としてセグメントごとに組織を拡大していきフィジカル分野や海外展開も視野に入れています。





法人番号：2011001169094（株式会社マイクロニティ）、5010901015090（株式会社アルファコックス）、9120001114778（株式会社コンビーズ）、2010001066938（株式会社フレームワークスソフトウェア）、4010001070401（株式会社ウェブインパクト）、4012301005788（株式会社ビーライン）、9180301014598（株式会社ライラ）、2010401185437（株式会社IBT総合研究所）、5010001119627（イーパーセル株式会社）、1011001172586（株式会社Micronity1）、5011001176360（株式会社Micronity2）、4011001176361（株式会社Micronity3）、7011001177761（株式会社Micronity4）、1011001178344（株式会社Micronity5）、2011001179176（株式会社Micronity6）